



八峰町

議会だより



塙川小学校最後の卒業生

- 3月定例会ダイジェスト……………2ページ
- 当初予算・付帯意見……………6ページ
- 一般質問……………9ページ
- 傍聴で感じたこと・臨時会結果……………17ページ
- 議会の主な動き……………18ページ

3月
定例会

3月 定例会

ダイジェスト

移住・定住、人口減少対策を盛り込んだ新年度予算を可決

3月定例会は3月3日(木)から18日(金)までの16日間開催され、条例の制定・改正や一般会計及び特別会計の当初予算、補正予算、人事案件等が上程されました。
そのほか、陳情4件等を審議しました。
一般質問では、8人が登壇し、町政をいただきました。

一般議案

行政不服審査法の改正に伴う字句の改正、地方公務員法の改正に伴う級別標準職務表の追加、秋田県人事委員会の県職員との給与に対する勧告に準じて給与改定等、条例改正しました。

●八峰町情報公開条例等の一部を改正する条例制定
行政不服審査法の改正に伴い、八峰町情報公開条例と八峰町個人情報保護条例中の字句を改正しました。

●八峰町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定
行政不服審査法の改正に伴い、八峰町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正しました。

●八峰町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定
八峰町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

●八峰町建設計画の変更について
合併特例債を発行できる期間が五年延長されたことに伴い、本起債を活用するため計画を変更しました。

●八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定
乳がん検診の手数料項目を簡素化するとともに、検診手数料を三年間据え置いたため条例改正しました。

●八峰町行政不服審査関係手数料
①指定管理者となる団体の所在地及び名称
八峰町八森字滝の間324番地5
八峰白神自然食品株式会社
代表取締役 鈴木勇
②指定の期間
平成28年4月1日～平成33年3月31日

●八峰町過疎地域自立促進計画の策定について
八峰町過疎地域自立促進計画を策定しました。

●工事請負契約の締結
○契約の目的
林道施設災害復旧事業
林道峰浜線1号箇所工事
○契約金額
6711万1200円
○契約の相手方
株式会社 嶋田建設
代表取締役 太田治彦

●公の施設の指定管理者の指定について
八峰町農林水産物処理加工施設の指定管理者を指定しました。

●八峰町営簡易水道事業特別会計への繰入
●八峰町公共下水道事業特別会計への繰入
●八峰町農業集落排水事業特別会計への繰入
●八峰町漁業集落排水事業特別会計への繰入
●八峰町合併処理浄化槽事業特別会計への繰入
一般会計からの繰入を可決しました。

料条例制定

改正行政不服審査法の施行により、提出資料等の写しの交付に係る手数料に関する事項を定めるため条例制定しました。

●八峰町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定
介護保険法の一部が改正されたことに伴い条例改正しました。

●八峰町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定
介護保険法の一部が改正されたことに伴い条例改正しました。

●八峰町峰浜土床体育館条例を廃止する条例制定
峰浜土床体育館の設置及び管

●新町まちづくり計画(市町村

●第二次八峰町総合振興計画基本構想の策定
第二次八峰町総合振興計画基本構想を策定しました。

●新町まちづくり計画(市町村

補正予算

●平成27年度八峰町一般会計補正予算(第8号)

1億3312万3千円の減額補正

主な歳出(追加)：地方創生加速化交付金事業関係、国民健康保険特別会計操出金、情報セキュリティ強化対策備品購入費、給与改定分

主な歳出(減額)：自立支援給付費、県単局所防災事業治山工事費、町道改良工事費、橋梁維持工事費、そのほか各事業の精算など

●平成27年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

807万8千円を追加補正
主な歳出：一般被保険者療養給付費負担金、一般被保険者高額療養費、返還金など

●平成27年度八峰町介護保険事

業勘定特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の組み替え
主な歳出：介護サービス等諸費と特定入所者介護サービス費の追加、認定審査会負担金と予備費を減額補正

●平成27年度八峰町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

100万2千円を追加補正
主な歳出：後期高齢者医療広域連合納付金

●平成27年度八峰町沢目財産区特別会計補正予算(第2号)

81万5千円を追加補正
主な歳出：立木売却収入の関係地区への交付金と予備費の追加

●平成27年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

4004万8千円を減額補正

主な歳出：八森地区簡易水道配水管敷設工事ほか、事業確定などによる減額

●平成27年度八峰町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)

579万6千円を減額補正
主な歳出：事業確定による各種委託料の減額

●平成27年度八峰町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

9万8千円を追加補正
主な歳出：給与改定に伴う補正

●平成27年度八峰町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)

88万2千円を減額補正
主な歳出：浄化槽設置整備事業補助金の減額

●平成27年度八峰町営診療所特

別会計補正予算(第3号)

420万9千円を減額補正
主な歳出：医科及び歯科の一般管理費と医業費の減額

人事案件

●八峰町教育委員会委員の任命
福士保洋氏(石川・再任)
投票の結果賛成多数で同意されました。

賛成11票
反対0票
(議長を除く)

●人権擁護委員候補者の推薦
嶋田 弘子(塙・再任)

齊藤 一義(中浜・再任)
沢谷 純子(八森・再任)
小林 金則(高野々・新任)



陳情

採択された陳情

●軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

(軽度外傷性脳損傷仲間の会代表 藤本久美子)
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣に意見書を提出

●労働時間と解雇の規制強化を求める陳情

(秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 泉谷みどり・秋田県労働組合総連合 議長 星野博之)
内閣総理大臣、厚生労働大臣に意見書を提出

●全国一律最低賃金制度の実現をはじめ、最低賃金の改善と中

小企業支援の拡充を求める陳情
(秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 泉谷みどり・秋田県労働組合総連合 議長 星野博之)
内閣総理大臣、厚生労働大臣に意見書を提出

継続審査となっていた陳情(不採択)

●学校薬剤師の報酬改善についての陳情書

(秋田県薬剤師会 会長 大越英雄)
不採択の理由：町内薬剤師の指導状況については、活動日数が0〜3日程度と各校で違いがあり、積極的指導を受けている状況ではなく、郡3町の学校薬剤師報酬のバランスも考慮し、改善する必要はないと判断したため。

賛否が分かれた議案・陳情の採択結果

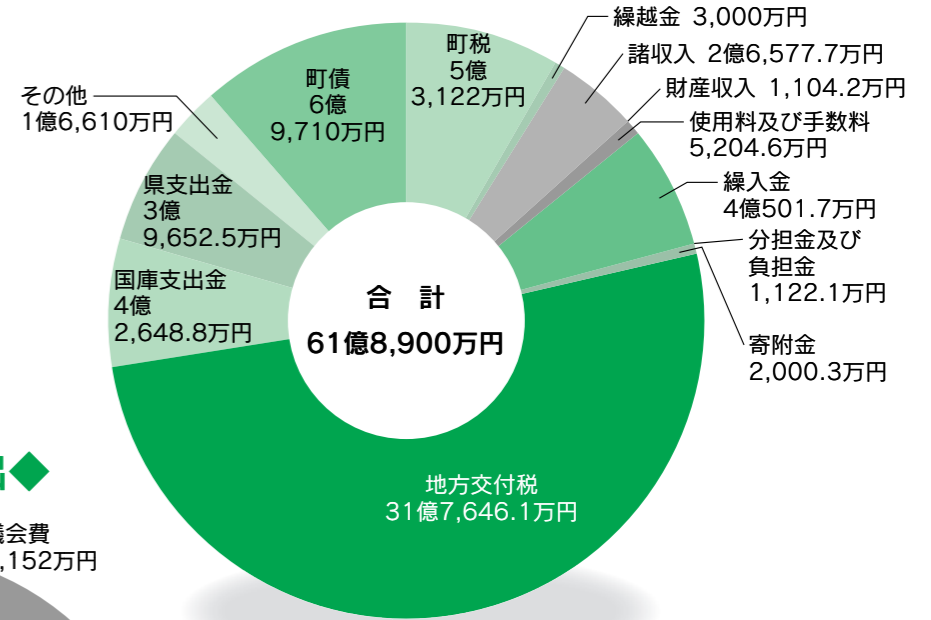
○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案・陳情を掲載しています。その他の議案はすべて全会一致で可決されました。議長は採決には加わりません。

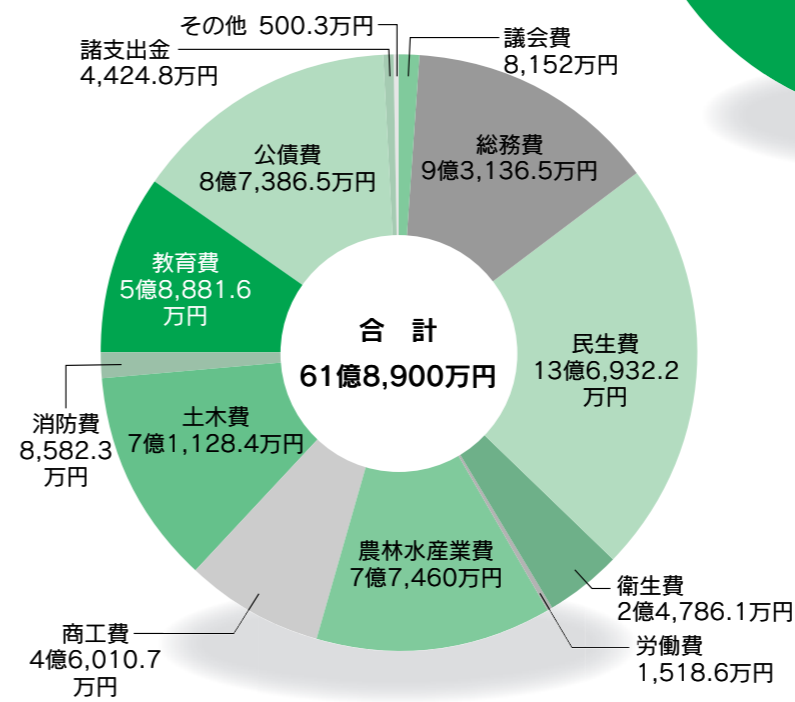
	鈴木一彦	笠原吉範	水木壽保	須藤正人	腰山良悦	柴田正高	皆川鉄也	嶋津宣美	菊地 薫	山本優人	門脇直樹	芦崎達美	議決結果
労働時間と解雇の規制強化を求める陳情	病欠	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○		採 択
労働時間と解雇の規制強化を求める意見書	病欠	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○		原案可決
全国一律最低賃金制度の実現をはじめ、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情	病欠	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○		採 択
全国一律最低賃金制度の実現をはじめ、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書	病欠	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○		原案可決

平成28年度各会計予算総括表

◆一般会計 歳入◆



◆一般会計 歳出◆



◆各特別会計予算◆

会計名	予算額
国民健康保険事業勘定特別会計予算	12億6,303.4万円
介護保険事業勘定特別会計予算	11億8,971.5万円
後期高齢者医療特別会計予算	8,352.5万円
沢目財産区特別会計予算	1,249.1万円
簡易水道事業特別会計予算	3億1,638.3万円
公共下水道事業特別会計予算	3億901.5万円
農業集落排水事業特別会計予算	8,276.6万円
漁業集落排水事業特別会計予算	5,563.7万円
合併処理浄化槽事業特別会計予算	362.8万円
診療所特別会計予算	6,982.6万円

なお、予算については、全会一致で可決されました。

予算特別委員会での 主な質疑

総務常任委員会

Q おがる八峰しいたけプロジェクト分の県予算が補正で増額となったと聞いたが、情報は入っているか。

A 情報は入らない。本プロジェクトは県交付金と起債を充当して実施することとしているので、新年度の県交付金が増額交付された場合は、その分起債を減額して対応したい。

Q 空き家利活用推進事業補助金は1戸当たり400万円の上限となっているが、上限いっぱい使われているか。提供される空き家は下水道未接続の物件が多く、その接続や水回りの改修で事業費の大半を使っている。

たに排水施設の破損力所が見つかつたため29年度まで1年伸びる可能性がある。

Q 菌床製造施設等用地購入費2600万円とあるが、面的にはどの程度の予定か。100万菌床増加の予定だがハウスの棟数が多くはないか。

A 1.5ha、2haほど、2600万円を上限度として積算している。施設の面積については、試算しており適切な棟数となっている。費用面からみても、一つにまとめるよりもハウスタ입にし棟数を分けた方が安くなっている。

Q 漁港整備事業の28年度の内容は。
A 岩館漁港は西護岸の改良、護岸改良・舗装（ヒラメ養殖場

A 未受診者全員に対して調査していないので把握していないが、コールリコール事業など各種対策を取りながら受診率向上に努力する。

Q 空家除却推進事業補助金の対象となる空き家が少なすぎる。もっと利用しやすい補助に出来ないか。

A 災害対策費に予算を置いていることを理解していただきたい。

Q 医科診療所非常勤医師数が減少したにも関わらず報酬が大きく減額となっていない理由は。

A 患者数に大きな変化がないことや、三木医師の担当が3回となり時間が3時間と今までより1時間長くなる医師が減少しても全体で2時間程度の診療時間減少となるためそれほど大きな変化はないためである。

Q 患者数に大きな変化がないことや、三木医師の担当が3回となり時間が3時間と今までより1時間長くなる医師が減少しても全体で2時間程度の診療時間減少となるためそれほど大きな変化はないためである。

A 患者数に大きな変化がないことや、三木医師の担当が3回となり時間が3時間と今までより1時間長くなる医師が減少しても全体で2時間程度の診療時間減少となるためそれほど大きな変化はないためである。

Q 老人クラブ補助金の増額を検討すべきではないか。

A 他団体等の均衡も考慮する必要がある。実施に對しての助成を検討していきたい。

Q 健康を受診しない理由は把握しているか。



総務民生分科会の様子

A 物件によっては、200万円台で改修を終える物件もあるが、限度額いっぱい以上の事業費でも改修しきれない物件もある。また、移住者提案型は、限度額いっぱい使用する傾向にある。下水道未接続物件は改修費用が掛かり増しになるので、今後はそれも考慮して、対象物件を選定したい。

Q 結婚支援等で効果的に実践している事例はないのか。

A 個人情報取り扱いが厳しくなった現在、多くの制約があり、活動しにくい状況にある。ただし、少子化対策の一つとして、結婚というプライベートな問題に行政も関わらざるを得ない状況下にはある。

平成27年度で秋田アルスが婚活イベントを実施

小河川の浚渫について



柴田 正高 議員

土砂が氾濫している。早急に考えは。堆積物な作業自治会により発生が、担当トローパー。被害の復旧

質問 今後交付税が減少して町の財政も厳しくなることが予想され、収納向上が重要となる。
 ①未収額・不納欠損・収納状況・新年度の収納目標率は。
 ②収納対策本部の開催数・話し合いの内容・収

未収金収納について

ができるものと思っ
 今後も住民からの通報などの協力をいただきながら、危険箇所の把握に努め、しかるべき対応を行って、防災・減災に努めていく。
再質問 見回って危険箇所を点検し、計画的な浚渫を行う考えは。
答弁 できるだけ事前に調査しながら手を打っていく。

税目毎の未収金・滞納繰越分・不納欠損額

単位：千円

税目名	現年未収金	滞納繰越分	不納欠損額	収納状況	収納目標
町民税	23,061	7,032		87.05%	98%
固定資産税	5,266	17,136	3,652	97.92	96
軽自動車税	367	1,101		98.18	97
国保税	30,193	44,155	4,183	83.61	93
下水分担金	3,601		1,397		
土地貸付料		833			
学校給食費	11				
奨学金	4,849	8,661			
介護保険料	1,948	2,241	953		
後期医療保険料	244				
高齢者住宅貸付金		1,295			
一人親住宅貸付金		188			

納の成果は。
答弁(副町長) ①2月未現在の税目毎の未収金、滞納繰越分、収納状況、新年度の収納目標は表のとおりである。
 ②25年5月以降会議は開いていないが、収納率の向上のため税務課資料に基づいた話し合いを行ってきた。担当に異動がない。

く、各担当間で未納者の情報共有を引き続き行っていく。
再質問 貸付金の場合には連帯保証人を付けているが、返済を保証人に求めたことはあるのか。
答弁(副町長) 今まではないが、今後検討したい。

側)。八森漁港は西防波堤改良と港内底質調査。また新規に海底耕うんを行う。

Q 指定事業者雇用奨励金は3年間か。日本白神水産は3年以上経過しているのでは。

A 指定事業者は3年以内に従業員を5人以上雇用する必要があり、奨励金は従業員が5人以上になった年から3年間である。

Q ハタハタ館のトイレ二ニングルームの使用状況は。健康増進のためにも老人クラブに半額又は無料で利用させたらどうか。

A また浴客を増やすのが大切。入浴客にはトレーニングルームを無料で利用させたらどうか。ハタハタ館と協議しながら入浴客増加に向けて前向きに検討



教育産業建設分科会の様子

A 今後保護者からのアンケートを取り調査する。

Q 子ども園の統合(峰浜地区)についてはどう考えているか。

A 試算してみたい。
Q スクールバスの運行について経費が掛かりすぎなので直営についても試算してはどうか。

平成28年度予算審査

平成28年一般会計及び特別会計の歳入歳出予算の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、3月18日議会終了後、町長に付帯意見を提出しました。

その付帯意見を紹介します。

なお、町からの回答については、次号の議会だよりに掲載いたします。



議会終了後、付帯意見を町長に提出しました

意見1

奨学金の減免措置を

八峰町への移住・定住を促進する面でも、Uターンした奨学生の奨学金の減免措置を考えるべきである。

意見2

財政の更なる健全化を

人口減少や少子高齢化が進み、地方税収の増加が期待できない状況にあって、普通交付税が段階的に縮減されることは、町の財政運営に大きな支障をきたすものであり、今後の更なる健全化に努めるべきである。人口減少対策としての各種の事業が盛り込まれているが、八峰町独自の事業を打ち出すべきである。

条例第29号「八峰町職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例」について



笠原 吉範 議員

最近、公務員の非違行為を伝える報道が目につく。当町も例外ではない。
現条例では、非違行為をした職員の処分があまりに明確な処分の基準を設けることの抑止になるのでは。
町では「八峰町職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例」を定めており、減給できる割合の範囲や、停職とする場合の期間などを定めている。
非違行為も多種多様で、

再質問 一般質問通告書作成時には、公開されてなかったことになる。今後職員が非違行為が発覚した場合は、「八峰町職員の懲戒処分等の

再質問 まさにこの「八峰町職員の懲戒処分等の指針」のような明確な処分の基準を設けるべきとの質問である。
答弁 3月に入ってからだが、いつ公開したのか。

再質問 厳正・公平に懲戒処分を行うため、非違行為の抑止のためにも基準が必要であることから、平成23年12月に「八峰町職員の懲戒処分等の指針」を作成し、運用している。
この指針は、公開していなかったが、この度公開し、町の条例集で確認できるようにした。

若者の移住・定住促進について

質問 当町では、子育て支援が充実し、子育て支援住宅も検討されている。
しかし、首都圏から若者呼び込むには、働く場が必要である。
八峰町には跡取りや担い手のいない農業者や農林水産業者がたくさんいる。
商工会や、農協・漁協と連携を図り、「跡取りバンク」や「担い手バンク」を設立し、首都圏からの若者の移住・定住促進を。
答弁 後継者対策と若者移住をリンクさせた取り組みとして、後継者不足に悩む地方の農林漁業

再質問 北海道の下川町では、「求む次世代の担い手」として5社が名乗りを挙げて、町のホームページに掲載している。
当町の「移住ナビ」はアクセス数が多い。跡継ぎや担い手情報を掲載しては。
答弁 提案として受け、参考にさせていただく。

再質問 北海道の下川町では、「求む次世代の担い手」として5社が名乗りを挙げて、町のホームページに掲載している。
当町の「移住ナビ」はアクセス数が多い。跡継ぎや担い手情報を掲載しては。
答弁 提案として受け、参考にさせていただく。

※非違行為
非違行為とは違法行為のこと。行政職員などが、公的もしくは私的に法律違反をする行為をさす。

障害者差別解消法について



山本 優人 議員

質問 『障害者差別解消法』が4月1日から施行されるが、誰もが差別はいけない事だと解っているにもかかわらず、差別と思われる事がたくさん起きています。町が障がい者にも優しく、差別解消に向けて率先的に取り組んでいる。人に優しい町として、イメージを構築する取り組みが必要だ。障がい者人数は何人いて、差別に対する訴えや、相談があったのか。
答弁 障がい者の人数は、454名。相談体制としては、八峰町身体障

再質問 湯つこランドやハタ夕館で障がい者の入浴時間を設けるとか、多少の配慮ができないものか。少しの時間、湯船に浸かる機会を与えるのは、差別ではなくて配慮。それである。
湯つこランドやハタ夕館で障がい者の入浴時間を設けるとか、多少の配慮ができないものか。少しの時間、湯船に浸かる機会を与えるのは、差別ではなくて配慮。それである。



湯つこランド

再質問 湯つこランドやハタ夕館で障がい者の入浴時間を設けるとか、多少の配慮ができないものか。少しの時間、湯船に浸かる機会を与えるのは、差別ではなくて配慮。それである。
湯つこランドやハタ夕館で障がい者の入浴時間を設けるとか、多少の配慮ができないものか。少しの時間、湯船に浸かる機会を与えるのは、差別ではなくて配慮。それである。

サテライトオフィスについて

質問 サテライトオフィス誘致により、空き家対策・遊休施設対策など、町の課題も解決される。全町に高速通信網が整備されている点や空き家・事務所スペースを提供できる環境をPRし、企業のオフィス受け入れ、移住・定住促進の考えはないか。
答弁 この誘致は魅力を感じるが、全国的な事例を調査しながら、成果や問題点について検証してみることがある。
行政が誘致する場合には、どのような企業にアプローチするのか首都圏企業との懇談会等の機会に情報収集したい。

※サテライトオフィス
市街地にある本社を中心に、その周辺の住宅地などに分散して設置されたオフィスのこと。周囲を取り巻く衛星の意味でこう呼ばれる。コンピュータや通信設備を完備し従業員に提供する事で、完全在宅勤務を実現する。

第二次総合振興計画 について



皆川 鉄也 議員

質問 ①合併後10年、町長のイメージした町を創り上げることができたか。
②その結果が十分検証されこの度の振興計画にどのように盛り込まれたのか。
③これら計画を実効あるものにするため、更なる行財政改革が必要と考えるが。

質問 ①沢目、塙川子ども園も統合し、認定子ども園へと準備を進めるべきでは。
②町営診療所の常勤医師保の今後の取り組みについて。
③T P P 農業対策大綱に基づき制度の有効活用を

質問 ①合併後10年、町長のイメージした町を創り上げることができたか。
②その結果が十分検証されこの度の振興計画にどのように盛り込まれたのか。
③これら計画を実効あるものにするため、更なる行財政改革が必要と考えるが。

新年度予算 について



元気いっぱいの園児（塙川子ども園）

質問 ①沢目、塙川子ども園も統合し、認定子ども園へと準備を進めるべきでは。
②町営診療所の常勤医師保の今後の取り組みについて。
③T P P 農業対策大綱に基づき制度の有効活用を

質問 ①合併後10年、町長のイメージした町を創り上げることができたか。
②その結果が十分検証されこの度の振興計画にどのように盛り込まれたのか。
③これら計画を実効あるものにするため、更なる行財政改革が必要と考えるが。

学校歴史資料館 (仮称)の建設に ついて

質問 学校歴史資料を後世に残し保存することは極めて重要と考えるが。

J R五能線全線開通80周年を 観光誘客にどうつなげるのか



門脇 直樹 議員

質問 J R五能線が今年7月で全線開通80周年を迎える。沿線住民の生活の足となり、近年では観光列車「リゾートしらかみ」は年間約10万人の乗客があり、全国的にも人気の高いローカル線として知られている。7月30日に能代駅前や構内で、記念イベントの開催を計画しているが、そのようなイベント開催で地域のにぎわい、活性化が創出できるのか。
五能線がイメージするのは、八森、青森県鯉ヶ

質問 J R五能線が今年7月で全線開通80周年を迎える。沿線住民の生活の足となり、近年では観光列車「リゾートしらかみ」は年間約10万人の乗客があり、全国的にも人気の高いローカル線として知られている。7月30日に能代駅前や構内で、記念イベントの開催を計画しているが、そのようなイベント開催で地域のにぎわい、活性化が創出できるのか。
五能線がイメージするのは、八森、青森県鯉ヶ

質問 J R五能線が今年7月で全線開通80周年を迎える。沿線住民の生活の足となり、近年では観光列車「リゾートしらかみ」は年間約10万人の乗客があり、全国的にも人気の高いローカル線として知られている。7月30日に能代駅前や構内で、記念イベントの開催を計画しているが、そのようなイベント開催で地域のにぎわい、活性化が創出できるのか。
五能線がイメージするのは、八森、青森県鯉ヶ



国盗りあみ引き合戦（ルート101観光連絡協議会主催）

質問 J R五能線が今年7月で全線開通80周年を迎える。沿線住民の生活の足となり、近年では観光列車「リゾートしらかみ」は年間約10万人の乗客があり、全国的にも人気の高いローカル線として知られている。7月30日に能代駅前や構内で、記念イベントの開催を計画しているが、そのようなイベント開催で地域のにぎわい、活性化が創出できるのか。
五能線がイメージするのは、八森、青森県鯉ヶ

質問 J R五能線が今年7月で全線開通80周年を迎える。沿線住民の生活の足となり、近年では観光列車「リゾートしらかみ」は年間約10万人の乗客があり、全国的にも人気の高いローカル線として知られている。7月30日に能代駅前や構内で、記念イベントの開催を計画しているが、そのようなイベント開催で地域のにぎわい、活性化が創出できるのか。
五能線がイメージするのは、八森、青森県鯉ヶ

質問 J R五能線が今年7月で全線開通80周年を迎える。沿線住民の生活の足となり、近年では観光列車「リゾートしらかみ」は年間約10万人の乗客があり、全国的にも人気の高いローカル線として知られている。7月30日に能代駅前や構内で、記念イベントの開催を計画しているが、そのようなイベント開催で地域のにぎわい、活性化が創出できるのか。
五能線がイメージするのは、八森、青森県鯉ヶ

総合戦略の重点的な 取り組みについて



腰山 良悦 議員

質問 仕事づくりのための産業振興で、菌床シイタケ事業を重点的に取り組みを強化するとあるが、今後規模拡大を目指す生産者や新たに組み組む農家に対する支援の考えは。

答弁 既存事業、経営者の支援強化が急務で新分野への支援以上に必要。人材の育成・確保の具体的な支援・育成の考えは、「米を超える農作物」として大きな可能性を秘めているのは「菌床しいたけ」



菌床しいたけ

「け」であり、十億円産業実現の可能性が高いと考え、ホダの「安定供給できる体制」づくりが何よりの農家支援である。規模拡大等により栽培施設や機械の導入が必要になった場合は、県の補助事業に町の補助を嵩上げし支援していく。

今後、既存企業への支援施策の充実や農林水産業の既存事業に対する強化も記載しており、町の最重要課題の一つとして実施していく。本計画に加え、新たな

再質問 少子化対策では、結婚支援が一番の課題である。少子化対策で

再質問 移住・定住対策は、受け入れ体制の強化の中で掲げている田舎暮らし体験、奨励金、ネットワーク構築事業等だけでは促進されない。安定した収入が得られる職場の確保、また今以上の安心安全で便利な環境づくり、他にない特徴ある町づくりが大事で優先と考えるが。

答弁 産業振興による雇用環境の充実や安心・安全なまちづくりは重要施策の一つと捉え、長期にわたって関連施策を実施してきており、今後も町総合振興計画を基本的に継続的に実施していく。

再質問 少子化対策で

再質問 移住・定住対策は、受け入れ体制の強化の中で掲げている田舎暮らし体験、奨励金、ネットワーク構築事業等だけでは促進されない。安定した収入が得られる職場の確保、また今以上の安心安全で便利な環境づくり、他にない特徴ある町づくりが大事で優先と考えるが。

答弁 産業振興による雇用環境の充実や安心・安全なまちづくりは重要施策の一つと捉え、長期にわたって関連施策を実施してきており、今後も町総合振興計画を基本的に継続的に実施していく。

答弁 少子化対策では、結婚支援が一番の課題である。少子化対策で

再質問 移住・定住対策は、受け入れ体制の強化の中で掲げている田舎暮らし体験、奨励金、ネットワーク構築事業等だけでは促進されない。安定した収入が得られる職場の確保、また今以上の安心安全で便利な環境づくり、他にない特徴ある町づくりが大事で優先と考えるが。

答弁 産業振興による雇用環境の充実や安心・安全なまちづくりは重要施策の一つと捉え、長期にわたって関連施策を実施してきており、今後も町総合振興計画を基本的に継続的に実施していく。

人口減少社会に対応する 地域づくりについて



嶋津 宣美 議員

質問 町内でも食料品や日用品を扱う商店、或いはガソリンスタンドが廃業するところが出てくる。県では羽後町などで買い物弱者の解消のため「お互いさまスーパー」の支援をしたり、国でも小さな拠点づくり(国交省の事業)などの補助制度を創設している。町でも自治会のコミュニティ活動の活性化のための補助を行い2年になる。次期の事業として旧小学校区など複数の集落の買

い物・交流などのコミュニティ再生のために、地域と共にビジョンを考え、地域が行う活動に対して支援し、地域の遊休施設を活用させたり、町が協働による活動を行うために小さな拠点づくりに取り組む考えは。

答弁 町でも昨年の少子化人口減少対策会議や町総合戦略策定委員会の中で、小さな拠点づくりを話題に取り上げた。有効な手段のひとつであるが、逆に地域格差の心配もある。取り組みについては十分な検討が必要であることから計画に盛り込まなかった。

既に町では自治会育成支援事業を実施しており、新年度には地域づくり団体による町づくり活動を支援する補助制度をスタートさせる。地域で

小さな拠点づくりを調査・検討する時にはこの事業も対象となるので、活用されたい。このことは春の行政協力員会議でも問題提起し、各自治会長の意見も聞く予定だ。

再質問 地区によっては遊休施設が増えているが利用策が出されていない。小さな拠点づくりはひとつの自治会のことではなくもつとエリアの広い話であり、地区の代表を入れて遊休施設の活用も含めて話し合うことで、地区のコミュニティの再生が図れるのでは。

答弁 先進地域の状況を見ると中心となっていないのはNPOなどの団体であり、体制や人材も課題である。町も勉強していく。



洋上風力発電(銚子市)

質問 風力発電事業の普及拡大等のための組織化や風力発電を観光資源とする考えは。

答弁 今のところ組織化の考えはない。規模が小さいことから観光資源としては極めて弱く、環境学習などへの活用がよいと考える。

風力発電事業等への町の対応について



菊地 薫 議員

スクールバスエリア拡大と児童生徒の安全・安心について

学区の地域もするの協力している通学路ではな全・安教育委姿勢は。①平成書で、バスの

運行については、峰浜地区とのバランスを考慮した運行を図るべきである。」と議会より意見書が出された。八森地区統合小学校のスクールバス運行方法は「八峰町八森地区統合小学校づくり協議会」の合意のもとで決定し、観海地区の一部の児童を乗車させるのは、統合にあたっての約束事項であった。しかし3月議会定例会において、峰浜地区とのバランスを考慮した場合、一考を要するのではないかとこの意見が出され、対象地域保護者の説明会を開催し、理解して頂いた経緯がある。以上のことから、統合を受け入れる学校区については、八森峰浜両地区ともこれまで同様に集団登校を当面続けていく。



②登下校時等の子どもの見守り活動や、地域の見回り活動を、PTAや地域の方々の協力により行っているが、高齢化や共働き等で少ないのが現状である。行政協力員会議や、ホームページ、広報・お知らせ版等で確保に努めた。③不足部分もあると思う。今一度調査し、新年度に向けて対応したい。④八峰町教育行政方針では、重点目標の一つに「保護者や地域住民に信頼される安全で開かれた学校

づくり」を挙げている。通学では、スクールバスによる通学を一定の基準を定めて実施し、スクールガードリーダーや子ども見守り隊等の指導により安全な登下校が確保され、地域全体で見守る体制が整備されている。また、いじめ問題などの未然防止のため、いじめ・不登校等の兆候や変化をいち早く捉え、早期発見や早期解決を図るため、保護者や児童生徒へのアンケート調査を定期的に実施し、学級経営や生徒指導に生かしている。



傍聴で感じたこと

埴・嶋田 金雄

先般、3月議会一般質問の傍聴をさせて頂き、私自身も大変勉強になりました。議員さんからの質問に対する町当局の答弁のやりとり、前もって議員さんからの質問や課題は提出されているのですが、再質問もありそれに対する答弁は大変だと思いました。また、議員さんが質問内容を事前に担当職員より聞き取ったり、日常の中から地域全体を見据えた質問をする姿勢は立派でありました。行政は議会で議論されたことに基づき執行されるものであり、活発な発言は大変良いと思いました。自分が選んだ議員さんがどんな発言をするのかを見る、よい機会であると思います。町民の代表、代弁者である議員さんは、一般質問は自分の義務としたい、できる限り発言をすべきとつくづく思いました。今後、選挙投票年齢が変われば、高校生にも選挙権が与えられます。授業の環境として、議会傍聴への参加を大いに勧めるべきだと思います。毎回傍聴する人が少ないと聞き、議会を知る意味からも傍聴すべきだと、参加のたびに思っています。



平成28年1月13日開催 第1回臨時会

一般議案

●八峰町監査委員の選任
名畑吉男氏（目名潟・新任）
※無記名投票の結果、賛成8：反対2：白票1の「賛成多数」で可決しました。



補正予算

●平成27年度八峰町一般会計補正予算（第7号）
1451万円を追加補正
歳出の主なもの～ ふるさと納税関係報償費450万円、公民館費の図書購入費101万円、ふるさと八峰応援基金積立金900万円の追加
※全会一致で可決しました。

平成28年2月12日開催 第2回臨時会

一般議案

●八峰町特別職の職員で常勤のものの給与の減額に関する条例制定
町長と副町長の3月分の給料を10分の1減額する条例
※全会一致で可決しました。

●八峰町教育長の給与の減額に関する条例制定
教育長の3月分の給料を10分の1減額する条例
※採決の結果、賛成9：反対2（柴田・菊地）の「賛成多数」で可決しました。

長年町村議会議員として尽力された功績を称え、表彰されました

全国議会議員議長会表彰者

- 芦崎 達美 ●鈴木 一彦 ●柴田 正高

いずれも在籍年数は15年11月（平成28年2月4日現在）

議会の主な動き (12月～3月)

H 2 7

- 1 2月 1 6日 1 2月議会定例会 ～ 1 8日
- 1 7日 議会広報編集委員会
- 1 9日 ことぶき大学芸能発表会
- 2 0日 八峰町消防団年末懇談会

- 1 9日 能代山本広域消防本部10周年祝賀会
- 2 7日 町スポーツ文化栄誉賞授与式
- 2 9日 議会全員協議会

H 2 8

- 1月 5日 八峰町消防出初式
- 6日 議会広報編集委員会
- 8日 八峰町交通指導隊出隊式
- 1 1日 議会全員協議会
- 1 2日 例月出納検査
町総合振興計画第3回審議会
- 1 3日 議会運営委員会
第1回議会臨時会
- 1 5日 議会広報編集委員会
- 2 1日 白神八峰商工会賀詞交歓会
- 2 7日 能代山本広域市町村圏組合議会
- 2 9日 町総合振興計画第3回審議会

- 3月 3日 3月議会定例会 ～ 1 8日
- 6日 水沢小学校閉校式
- 1 0日 例月出納検査
- 1 2日 中学校卒業式
- 1 5日 小学校卒業式
- 1 8日 議会広報編集委員会
- 1 9日 峰浜中学校閉校式
- 2 1日 能代市制施行10周年記念式典
- 2 5日 ことぶき大学閉講式
教職員離任式
広報編集委員会
- 2 7日 八峰町誕生10周年記念式典
- 2 9日 町交通安全対策協議会常任委員会

- 2月 7日 農事講演会、懇談会
- 9日 議会運営委員会
- 1 0日 例月出納検査
船霊祭
- 1 2日 第2回議会臨時会
三町議会議員連絡協議会役員会・総会
- 1 5日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会



3.27 八峰町誕生10周年記念式典

編集後記

暖冬といえども、これほど雪のない冬は経験した記憶がないほどだ。雪かきに追われることなく、運動不足で終わってしまった。

趣味の岩海苔摘みも、例年の吹き荒ぶ寒さの中での作業とは違って呑気なものだった。早くも桜便りが聞こえてきた。例年ならば雪解けを待って始まる農作業の準備も今年はずでに始まっているらしく、農家の人たちも準備万端といったところだろう。土が雪に覆われることで害虫が死んで次の年を迎えると教えてもらったことがある。ということ。今年には虫が多くて農家は大変だということなのか？

除雪車の出動も例年の半分以下。暖冬だからと言っていいことばかりではない。どうか暖冬の影響が作物に出ないことを願っている。(記 門脇直樹)

●議会広報編集特別委員会

委員長 門脇直樹
副委員長 嶋津宣美
委員 笠原吉範
水木壽保
山本優人